
魔法先生ネギま!? ~存在しない者の物語~

安心院なじみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法先生ネギま！？～存在しえない者の物語～

【Zコード】

Z7535W

【作者名】

安心院なじみ

【あらすじ】

久しぶり、安心院なじみです。これが第一作ですので、多少の間違いはお許さなくていいです。もしあつたらおしえてください。この作品は、『魔法先生ネギま！？』に転生した少年、『桜神 永歌』が奮闘する、そんな感じの話です　この作品に関係する他の作品は、『めだかボックス』などで、場合によって増やしていきますので・・・基本的に原作通りにいくので、よろしく　作者は、単行本を買って読んでいるので、単行本以上には進めませんのでその辺はご了承ください。　それでは、どうぞご鑑賞ください！！！！

プロローグ（前書き）

。 最近、『緋弾のアリア』にはまつているダメ作者です。うう……。

プロローグ

えーと……」「何が？」
ただいま、白い垂直間的などいつもおります……、何故私はここにいるのでしょうか？

「死んだからじや。」

へー、なるほど・・・つてええええええええええええええええ

いやいや、おかしいでしょ？

私は自分の部屋で寝ながら、『めたかホラケブ』第12巻読んでいたのですよ！？

つて、こきなつ出したきてなにをこきなつ言こやがるんですか」のク
ソジジニ---

「なんで死んだことになつてんですか、俺！？」

「寝てるとこにドラッグが突っ込んできたんじゃ、普通死ぬじゃろ?」（ま、わしがやつたのじゃがな）

お、遙かに近づいてたや？

「まあいいだろ、多分もう戻れねえしな。そつだろ?」

「アーティスト」

何故俺を殺したんだ？え？」

「
で
?」

「代々神は人間から選ぶんじゃが、やっぱ適応できる奴と無理なやつがおひでの、おぬしを選ばせてもらひたんじや。」

L

「何故俺を？」

「実は、お主は、神になると不老不死になると云つほど適応値がたかくての、それでじや。」

「ふーん。つまり俺が次の

一
むう

「拒否権は？」

なし。

「アーティストの才能を発揮するためには、アーティスト自身が何をやるかよりも、アーティストの周囲の環境が重要だ。」

「政治の問題」。」

卷之三

卷之二

「アーツ・漫画・小説その他諸々の世界の管理しゃ
しいぞ？ちなみにどう改造しても良い。」

「乗つた！！！」

(この間約0.00001秒)

「はや！」

「まいじや

世界の管理を汎せる。

「『ネギまー』の世界で、「よひしやあああーー。」最後まで

「うれしくくれい・・・」

「うーん、あたら、せーはホーと能だじゅな?」

「そうだな、どうぞお入りなさいが？」

あ
大丈夫ぢや、おぬしは神になつた時も、う持つとるんじや

よ? 気付かなんだか?

「気付けるか！で、内容は？」

גָּדוֹלָה מְאֻמָּנָה אֶתְרָאַבְּדָה

「……、頭、大丈夫か？」

「…すまん。おぬし、ホントにチーフージャの「」

- 10 -

「おぬしのチート的な能力は、ぶつちやけ、『何でも作れる。スクリでも、者でも材料なしに』じゃ。」

「名前は？」

「えーと、確か……『神羅創造』じゃったと想つ……。」

「なぜ疑問形！？」

「誰だ？」

「最高神じや。」「呼んだかい？」

「……………や、最高神様あー！？」

・・・なぜに安心院の姿なんだ？

「最近めだかボックスにはまつたから。」

心を読んだことにほもつ突つ込まないぞ、俺。うん。

「で、何しにきたのですか？」

「いや、この子にボクもついて行こうと思つてた
は？ いまなんと？」

「だから、この子について行くつて。」

「仕事はどうするんですかあ！――――――！」

「君に任せる。以上。」

「反論は「なし。」ハアア・・・・」

「それに、同じ能力を持つ者同士、仲良くしようぜ

・・俺、空気になつてたよな・・・」

「まあ、気にするなよ。それに、ボクの方が能力になれてるしね。」

「それでは、もう行きましょうか？」

「待つて、名前決めないと。ボクは安心院なじみのままでいいけれど、キミはこまるでしょ？」

「じゃ、桜神 晓で。」

「なんでだい？」

「生前？読んでたネットの小説での気に入った名前です。」

「それ、ボクが書いてたんですけどね？」

「エエエエエエエエエエエエエエ！」

「つまりボクがキミの名付け親ってところだね。」

「あのー、もうよろしいでしょうか？」

「「yes」」

「それでは、またいつか。」

「あ、ちなみにボクは基本的に手は出さないよ。」

「H H H H H H H H ! ! ! ! ! ! ! !」

プロローグ（後書き）

つかれたあ・・・

第一話『これは創造者ですか？ いいえ、ただのバカです。』（前書き）

リボーン 読んでました。
W W W W W W W W W W W W W W W W (爆)
W W W

第一話『これは創造者ですか？』 いいえ、ただのバカです。』

うん、どうだ。

わざわざまで白い絵画と思つてれば、今度は真つ暗だ。黒一色。どうなつてやがる。

『はーい、どうもった?』

なんかいこまかうでないのかい」と

その少年は世界の倉造からヤングモービルと思いつて
ね?』

『単純に、あなたのスミ

「あつそ。

『それでは、がんばってください!!』

卷之三

ମୁଖ୍ୟମନ୍ତ୍ରୀ

一頭の中に作りたい世界をイメージして、それを反映させる感じだ

「んじや、時代は・・・、創造主^{ライフメーカー}が生まれるその600年ほど前で、世界は・・・、かどり。原作によるが如きが。

世界は・・・、めんどい。原作になるようになれ。

「んじゃ、それを反映させるよ！」……「え、初めてにしては上出来だよ、百点満点だね。」

「よし、『』の後どうしようか。」

実は何も考えてない主人公。バカの極みなり。

「・・・よし、修行だ！――！」

「へえ、シンプルだね。でもそこが気に入つたよ。で、何をする？」「『』はネギま！？だろ？ならばまずは神鳴流だろ、やつぱし！」「どいでやるんだい？現実世界は無理、魔法世界ももう無理だろ。人が最初から住んでるし。」

考え中・・・しばしお待ちを・・・

「ダイオラマ球はどうだい？」

「ああ、なるほど。でも、年取つてくしな・・・」

「いや、僕たち不老不死だし。」

「そうだつた！忘れてた！――！」

「じゃ、ダイオラマ球の作成・・・どんななかみにする？」

「こつそのこと、地球をそのまんまつてのは？」

「なーるほど。じゃ、地球つと。体感時間は・・・ま、変えなくていいか。今は。」

「さつとかと作りなよ。」

「はいはい・・・、終わつたぞー。」

「んじや、修行へ・・・」

「レッヂゴー!!」

第一話『 Ireneなんですか？　はい、なんでもありますん』

600年後

「終わった…………」

「そうだね」

「いやー、今日も疲れたな

「よく言えるね、汗一つかいてないくせに」

「ほっとけ」

・・・え？ 時間が飛んでるって？

まあ、いいじゃないですか。え、なにしてたかって？ ようじい、お
教え致しましょう。

単純に言つと、神鳴流をはじめとするさまざまな流派の技を奥義ま
で全部マスターして、日々日々練習を日課として過ごしているだけ
デスよ？ で、外の空気吸うついでに各地の紛争地域で暴れてきたり、
物資を送つたりしてたかな？ なんかあだ名がついた。何個か紹介し
ましょ。

『 静かなる鬼』 ・・・ 静かに戦場を歩いていたら、後ろに不動明王
が見えたらしい ・・・

『 マジで間近で大魔法食らつてノーダメージなんだけど』 ・・・ そ
のまんま。

『 異空の死神』 ・・・ 空間を破つて突然戦場に現れ、すべてを死の
世界に送る（要するに殺す）から

『地獄からの贈り物』・・・作者のあだ名。なんでついた?

『双剣双銃の災厄』・・・アリア見てる人なら分かるはず。ちなみ
に2刀は『鉄碎牙』『スラッシュショット

ス』、2銃は秘密。

てなわけで、ひとたび戦場に出れば・・・

ク

全員俺にDO GE ZA

・・・、つまらなかつた。とっても。

でそのあと、暇つぶしに呪文作つてた。
やばい。一回使つたら、最大で1つ惑星が・・・・・・消えた。

・・・、うん、一度と使わないよつこじょりとおもつた。

大戦まで10年。楽しみだな。

あ、赤き翼と完全なるせかい、どちら側につこうかな。結構迷うんだよこれが。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7535w/>

魔法先生ネギま!?～存在しえない者の物語～

2011年10月10日04時14分発行